

# BY BLUE

琵琶湖・淀川の未来を見つめる情報誌 バイブルー

2009  
VOL  
25

[新連載]  
● BY探訪 ほとりへ…P1  
「猪名川」

● 食材を活かす水の妙…P2  
「近江茶」

● 水とともに…P5  
「保津川下り」

[新連載]  
● 行こうよ 水のミュージアム…P10  
「淀川資料館」



水辺からのメッセージ

神戸市水道局

## 神戸の水だより「布引」 「水源保全活動への活用」について

神戸の水道創設時から市民の生活を支え続ける布引ダムが、平成18年7月に国の重要文化財指定を受けたことを記念し、「布引溪流」の水を用いてポトルドウォーター「神戸の水だより」布引」を製作し、平成18年8月1日より販売・配布を始めております。「布引溪流」の水は、かつて「赤道を越えても腐らない」と親しまれ、環境省の名水百選にも選ばれています。布引ダムとともに、神戸の水



のおいしさを、市民の貴重な財産として再度認識していただき、このことを通じて水道事業への理解と親しみを深めていただきたいと考えております。

このような中で、神戸市の水道事業では、環境にやさしい水道を実現していく取り組みを進めており、自己水源である千苺・布引・烏原貯水池の水質保全や千苺貯水池上流の羽束川・波豆川周辺流域の環境保全活動を行っています。今年度からは、「神戸の水だより」布引」の売上の一部を、羽束川・波豆川流域の水環境保全活動に活用しています。

### 開館20周年 水の科学博物館が リニューアルオープン

また、神戸市水の科学博物館は、開館20周年を機に、新たに「環境と水」の観点等も取り入れ、この春、リニューアルオープンしました。是非お越しください。



水の科学博物館ホームページ  
<http://www.city.kobe.lg.jp/life/town/waterworks/water/hakubutukan/index.html>

神戸市水道局庶務課 E-mail : itteki\_chan@office.city.kobe.lg.jp TEL.078-322-5871

### 表紙が変わりました!

BYBLUEの表紙が今号から「石コロアート」に変わりました。水辺に転がっている石も、絵の具で着色するだけで表情が生まれ、生命が吹き込まれます。ユニークな形の石を見つけてあなただけのアートを作ってみてください。



### (財)琵琶湖・淀川水質保全機構賛助会員(50音順)

計12社(平成21年9月1日現在)

(株)アクアテルス琵琶湖事業部、いであ(株)、(株)環境総合テクノス、(株)建設技術研究所大阪本社、国際航業(株)関西支社、(株)修成建設コンサルタント、帝人エコ・サイエンス(株)、(株)東京建設コンサルタント関西支店、(株)西日本技術コンサルタント、(株)日建設計シビル、(株)ニュージェック、パシフィックコンサルタンツ(株)大阪本社



財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構 〒540-6591 大阪市中央区大手前1丁目7番31号大阪マーチャントイズ・マーケット(OMM)ビル13階  
TEL.06-6920-3035 FAX.06-6920-3036  
Lake Biwa-Yodo River Water Quality Preservation Organization ホームページアドレス <http://www.byq.or.jp/>

(財)琵琶湖・淀川水質保全機構は、淀川水系における河川・湖沼水の水質浄化技術及びこれに関連する技術に関する研究開発、水質浄化事業の支援等を行うことにより、淀川水系の水質保全に寄与し、もってうおいのある地域社会の形成と関係住民の生活環境の向上に資することを目的としています。

「BY BLUE」とは、琵琶湖(BIWAKO)・淀川(YODOGAWA)を青く(BLUE)美しく、という願いから名付けました。





Vol.1 猪名川

標高753m、阪神地区で最も高い大野山(兵庫県川辺郡猪名川町)が猪名川の源流です。上流域では秋・冬の訪れも早く、あたりは紅葉・黄葉から雪景色へと彩りを変えていきます。

流れは渓谷を南へと下り、支川と合流しながら大阪国際空港の西側へ流れ、神崎川まで続きます。43kmにおよぶ流路のそばには、緑豊かな一庫公園、紅葉の名所として知られる五月山などみどころもいっぱいです。



【一庫公園】川西市国崎字知明  
一庫ダムの知明湖を望む緑豊かな公園。秋にはクヌギやコナラの紅葉が楽しめる。



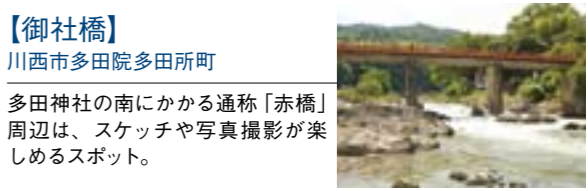
【屏風岩】川辺郡猪名川町北田原 (写真提供/猪名川町観光協会)  
高さ30m、幅100mにおよぶ岸壁。春は桜、秋は紅葉が楽しめる名勝。



【ふるさと館と親水護岸】川辺郡猪名川町木津字八十  
館内では猪名川町の文化を紹介。施設裏には、遊具やせせらぎのある芝生ひろばも。



【道の駅・いなわ】川辺郡猪名川町万善字竹添  
地元産の野菜や、つなぎ粉を使わない「十割そば」が買えるほか、そば打ち体験もできる。



【御社橋】川西市多田院多田所町  
多田神社の南にかかると称「赤橋」周辺は、スケッチや写真撮影が楽しめるスポット。



【ドラゴンランド】川西市小戸2丁目~小花2丁目  
全長133mの大型遊具は、川西に伝わる説話の龍がモチーフ。川辺には水遊びができる小川やサイクリングロードも。

【五月山公園】池田市綾羽

「大阪のみどり百選」にも選ばれている名所。展望台からは大阪平野が一望でき、園内には動物園も。

猪名川、こんな川

流域…川西市・池田市・宝塚市・箕面市・伊丹市・豊中市・尼崎市など  
水源地…兵庫県川辺郡猪名川町柏原 大野山  
流域面積…383km<sup>2</sup>(山地286.7km<sup>2</sup>、平地96.3km<sup>2</sup>)  
流路延長…本川43.2km、その他の支川218.2km

大野山から南へと注ぐ  
川面には四季折々の表情



食材を  
活かす  
氷の妙

近江茶



鈴鹿山麓の豊かな自然の恵みに育まれた香り高く上品な味わい

滋賀県のお茶の歴史は古く、805年、延暦寺を開いた最澄が中国から持ち帰った茶の種子を比叡山麓の日吉大社辺りに播いたのが始まりといわれています。日吉大社の一隅にある茶園は、その時のものと伝えられています。現在では主に、「土山茶」「朝宮茶」「日野北山茶」「政所茶」などが近江茶として知られています。

近江茶の主な産地は甲賀市の土山町から信楽町一帯。標高300~400mの丘陵地で、土質は古琵琶湖層の固結粘土がみられます。年間降水量1500~1600mm程度で年平均気温は約14度という気象条件や土壌条件はお茶の栽培に適した環境といえます。



香り高い朝宮茶

近江茶の一つ、朝宮茶の産地である信楽町朝宮は、昼夜の気温差が大きいため霧が発生しやすい土地。霧という天然の覆いで太陽光が遮られることでうまみ成分が残り、香り立つ独特の風味を持った朝宮茶ができるのです。

お茶をいれるのに適した水は軟水\*1で、日本の水道水として使われる水源は、ほとんどがこれにあたります。茶葉の生産は限られた地域でしかできません

んが、おいしいお茶は家庭でも簡単にいれることができます。

琵琶湖に注ぐ水をきれいに環境に優しいお茶栽培

お茶の栽培は比較的多くの肥料が使われるため、環境負荷荷が大きい作物といわれています。肥料は、農業排水として琵琶湖に流れ込み水質の悪化を招きます。そこで現在、滋賀県では少しでも環境負荷を減らそうと、お茶栽培においても「環境こだわり農産物\*2」の推進を進めています。

栽培面積・生産量とも滋賀県一の土山地区では、排水が直接琵琶湖に流れ込まないように、一度田んぼの用水として引き込んで、ある程度浄化してから琵琶湖に流すようにしている茶園団地もあります。琵琶湖を守るため、琵琶湖への環境負荷を減らす取り組みが茶づくりでも進められているのです。

(撮影協力/中川誠盛堂茶舗)

\*1 カルシウム・マグネシウムなどの塩類をほとんど含まない水。炊飯や和食、コヒトなどの用途によいとされ、洗濯や染色などにも適しています。  
\*2 「環境こだわり農産物」は、農業や化学肥料の使用量を通常の5割以下に削減し、人や琵琶湖にやさしい栽培方法で作られた農産物に対して滋賀県が認証しています。



「宇治は茶所、茶は政所…」と茶摘み唄にも出てくるように古くから銘茶・政所茶の産地として知られる東近江市政所町。シカヤサルの姿が見られるような山間地で栽培されます (写真提供/中川誠盛堂茶舗)

近江茶で高い人気を誇る  
朝宮茶のおいしさの秘密

お茶の味を決めるのは、うま



# BYQ シンポジウム 「地球温暖化による気候変動の水環境への影響と対策」 を開催しました

近年、猛暑や豪雨などが頻繁に発生するなど異常気象を身近に感じているところですが、その原因が地球温暖化にあるといわれています。

そこで、地球温暖化は事実なのか、その状況はどうなっているのか、また、水環境への影響はどうか、我々はどのように考えていけば良いのかなど、各分野の第一線で活動されている専門家を招き最新の研究や情報、意見を聞くためにシンポジウムを開催しました。

開催にあたっては、国土交通省近畿地方整備局、気象庁大阪管区气象台並びに独立行政法人 水資源機構関西支社の後援をいただきました。

なお、現在このシンポジウムの結果を記録集としてまとめるよう作業を進めています。

## ●基調講演●

### 「地球温暖化のこれまでとこれから」

地球温暖化の仕組から近年の地球温暖化の状況、そしてこれから地球環境がどうなるかについて、観測結果や気候モデルによる予測結果を用いてご講演いただきました。



大阪管区气象台  
里田技術部長



## ●リレー講演●

### 「低炭素社会に向けた方策について」



京都大学大学院  
松岡教授

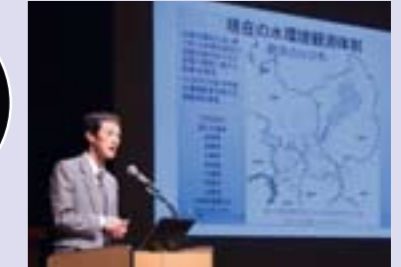


地球温暖化対策のための低炭素社会実現に向けた社会ビジョンの策定方法についてご講演いただきました。

### 「気候変動の水環境への影響把握のための観測について」



龍谷大学理工学部  
岸本教授



地球温暖化の水環境への状況把握のためのモニタリングのあり方についてご講演いただきました。

### 「琵琶湖の水質・生態系の変動と地球温暖化について」



滋賀県琵琶湖  
環境科学研究センター  
加賀爪副センター長



琵琶湖の水質の現状や琵琶湖北湖の循環など地球温暖化に向けた課題について、ご講演いただきました。

### 「水災害分野における気候変動への適応策について」



国土交通省  
近畿地方整備局  
尾澤河川部長



地球温暖化に伴う短時間豪雨の増加など水災害分野などへの影響および対策についてご講演いただきました。

## ●パネルディスカッション●

### 「地球温暖化による気候変動への琵琶湖・淀川流域の今後の取り組みについて」

琵琶湖・淀川水質浄化研究所 宗宮所長をコーディネーターに、里田技術部長、松岡教授、岸本教授、加賀爪副センター長、尾澤河川部長によりパネルディスカッション「地球温暖化による気候変動への琵琶湖・淀川流域の今後の取り組みについて」が行われ、「地球温暖化はとめられない、我々は水環境に対して、観測方法などどのような対応をしていくべきか」など、熱心な意見交換や会場からの質問についての回答も行われました。



<コーディネーター>  
京都大学名誉教授  
龍谷大学名誉教授  
琵琶湖・淀川水質浄化研究所  
宗宮所長



#### 【開催概要】

- 開催日時：2009年6月18日  
10時開演 17時30分閉会
- 開催場所：京都教育文化センター
- 来場者：約250名

#### 【来場者アンケートより】

- 具体的な地球温暖化の影響が理解できた
- 琵琶湖の水質状況、国の施策について、今後の取り組みについて、植物プランクトンの状況。それに関わる研究者の思いを身近に聞くことができた
- 環境モデル都市として公共工事に反映させていくべきだと認識した。新聞や報道されていることについて理解が深まった



# 開削から400年 京の暮らしを支えた水運

四季の自然美に彩られる保津川を亀岡から嵯峨嵐山へ下る保津川下り。その名は全国的にも知られており、年間約30万人の観光客が訪れます。かつて保津川は、上流の丹波の木材を筏流しで下流へ運んでいました。その歴史は古く、長岡京に都があったころにまでさかのぼります。



JR 保津駅から保津川を望む



## 丹波の物資を京都へ 角倉了以の偉業

京都府西部を南東に流れ、桂川の中流部にあたる保津川は古来、丹波地方と京の都を結ぶ重要な川でした。長岡京や平安京の造営、大坂城や伏見城の築城に必要な資材となる木材は、保津川の水流を利用して丹波から筏で運ばれたのです。丹波地方は物産にも恵まれていたため、京の都の人々は船による材木以外の物資輸送も望んでいました。保津川の狭い峡谷を通ることができたのは筏だけでした。

慶長11（1606）年の春、京都・嵯峨の豪商・角倉了以（まのりゅうい）が、険しい山々と激流にさえぎられた保津川を開削する事業に着手。多くの犠牲者を出し、7万5千両（現在の米価換算で75億円相当）という巨費を投じることになりましたが、難工事をわずか5か月という驚異的なスピードで完成させました。水に浮くやぐらをつくり人力

物資が運ばれました。

保津川の開削完成後、了以は上流の改修を進め、嵯峨から現在の南丹市日吉町に至る通船を可能にしました。

明治32年に園部―京都間の京都鉄道が全通し、さらに戦後のトラック輸送の発達によって筏と荷船の役割は衰退。明治28年頃から観光客を乗せた川下りが始まり、保津川下りは物資輸送の荷船から観光船へと移行していきました。



平安時代以前に始まり昭和初期まで続いた筏流し（写真提供／保津川遊船企業組合）

## 「保津川を世界遺産に」 住民中心に機運高まる

了以の保津峡開削から400年を迎えた2006年、亀岡市は市民とともに「保津川開削400周年記念事業実行委員会」を設立し、400年前の美

で水中の巨岩を引き上げ、落として粉砕するという新たな土木技術も駆使したと伝えられています。水路を確保するための水寄せの一部が、保津川下りの中間付近の「朝日の瀬」に今でも残っています。



朝日の瀬（写真提供／保津川の世界遺産登録をめざす会）

また、了以は備前より呼び寄せた船夫や船大工から、造船や操舵技術を伝授させ、保津川下りの基礎を作り上げたのです。

開削された保津川の水運では、開削以前から材木を運んでいた筏に加え、荷船によって薪、米穀や雑穀、炭など人々の生活に欠かせない丹波の豊富な

しい保津川を目指した清掃活動や、環境意識の高揚・啓発に関連した事業を実施しました。

この活動を継承し、保津川の歴史や魅力を継続して発信していくと、流域の住民・企業・行政とのパートナーシップのもとで、翌年に「NPO法人プロジェクト保津川」が発足。定期的な保津川の清掃活動「保津川クリーン作戦」や約60年ぶりの筏流しの復活を目指した「保津川筏復活プロジェクト」など、保津川の環境保全、伝統技術の継承を目指した活動が行われています。最近では「保津峡世界遺産化プロジェクト」として保津峡の世界遺産登録への機運も高まっています。

亀岡市でも「保津川の世界遺産登録をめざす会」を設立し、約40年ぶりに木造船を新造するなど様々な取り組みが行われています。

時代の流れとともに人々と保津川の関わり方が変わっていくなか、保津川という資源を継承していくために、保津川の環境保全そして伝統技術を継承していくための活動が、住民主体となって展開されています。



琵琶湖・淀川水質浄化共同実験センター（Biyoセンター）は、琵琶湖・淀川水系の水環境改善のために、自然の浄化能力を生かした水質改善など、新たな水質浄化技術の研究開発の場として、また、水環境改善に対する取り組みについて、多くの方々に知ってもらうための場として設置された施設です。



## 「富栄養化防止のための新規アルミニウム系化合物によるリン酸イオンの回収実験」

実験レポート 近畿大学薬学部医療薬学科公衆衛生学研究室 准教授 川崎直人

富栄養化とは、栄養塩類の増加によって植物性プランクトンが異常増殖し生物生産量が多い状態を意味します。これにより赤潮や水の華が引き起こされ、魚介類の大量死、悪臭などの現象を招き大きな社会問題となっています。また、主な原因物質には、窒素やリンが含まれており、現在、これらの除去を目的とした技術開発が盛んに行われています。

近畿大学薬学部医療薬学科公衆衛生学研究室では、富田製薬

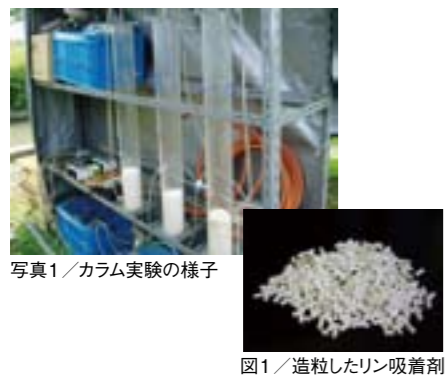


写真1 / カラム実験の様子

図1 / 造粒したリン吸着剤

株式会社と共同で原因物質の一つであるリンに着目し、リン吸着剤の開発を進めており、平成19年度からは、琵琶湖・淀川水質浄化共同実験センターとの共同実験として、Biyoセンターの水路型浄化実験施設近くの水路を使用した野外実験を実施しています。本誌面では「富栄養化防止のための新規アルミニウム系化合物によるリン酸イオンの回収実験」について紹介させていただきます。

リンを連続回収するための吸着剤として、アルミニウム系化合物であるギブサイトを使用しました。この吸着剤は非常に高い陰イオン交換能を持ち、安価かつ再利用可能な吸着剤の一つとして開発していただきました。本実験では、さらに結合剤を用いた造粒したものをリン回収剤として使用し（図1）、カラムを用いた連続的にリン吸着実験を行いました（写真1）。まず、琵琶湖流入河川である葉山川の水



図2 / 実験装置の模式図

を導水しているBiyoセンター内水路からくみ上げポンプを用いて、実験装置に原水を引き上げ、あらかじめ浮遊物質（SS）の除去を目的に前処理を行っています。前処理の方法は、分子ふるいの原理を用いた物理的処理法を採用しました。原水を砂利、その後アンストラサイトに通水させた後、カラムにより吸着実験を行っています（実験装置の模式図および実験条件を図2および3に示します）。また、吸着剤に対する日光および気温などの影響により、カラム内の吸着剤に対する微生物や

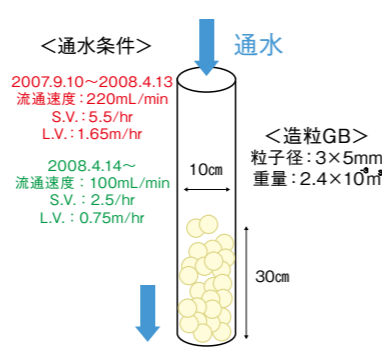


図3 / 実験条件

これまでの実験結果から、環境水中からリンを吸着できることがわかり、さらにリン以外の他の金属物質についても吸着能を示すことが示唆されました。今後は、より詳細なデータ整理・解析を行うことにより、リン吸着時における最適条件や吸着剤の耐用期間などの検討を行っていく予定です。



①大阪ジョウカ物語 / 川よきれいに！思いを込めてイケチョウ貝を入植  
②大阪ダックツアー / バスが川へスプラッシュインする瞬間は迫力満点  
③大阪・淀川市民マラソン / 河川敷のみを走る大会。淀川の自然を満喫できます



## BYスタンプラリー・協賛グループ紹介 ふるさと都・夢づくり協議会

「入口遊びで、出口は文化」が活動の原点。水陸両用バスで地域活性化に貢献

■今回は代表の須知裕曠さんにお話をうかがいました。

「大阪発で日本初を」をモットーに、市民による様々な企画を運営しているNPO「ふるさと都・夢づくり協議会」。BYスタンプラリーには関連団体の「NPO法人大阪・水かいどう808」「NPO法人大阪水都再生基金」も含め、3つの団体として参加しています。

「ふるさと都・夢づくり協議会」が設立されたのは1996年10月。地域の活性化、まちおこしをするための市民団体として設立されました。翌97年には「大阪・淀川市民マラソン」を開催し、その後も「日本フェイエル・ヤツペン協会」を設立するなど、活動の幅を広げてきました。「私たちが取り組むのは一発屋のイベントではありませんが、いかに継続させていくか、仕組みを考えることが面白い

んです。」「私は『入口遊びで、出口は文化』ということをもっています。最初は遊び気分で行ったことでも、継続していけば文化になると思っています」と語ります。

2001年7月に水都・大阪の再生を目指して「大阪・水かいどう808」を設立。道頓堀川や大川などで、水質を浄化し、真珠を産むイケチョウ貝を養殖し、大阪の川をきれいにしようというプロジェクト「大阪ジョウカ物語」や、2007年6月からは、日本初の水陸両用バスで水都大阪をめぐる「大阪ダックツアー」の運営も行っています。「水陸両用バスは大阪だけじゃなくて、長野県の諏訪湖や栃木県の日光などでも走らせています。水陸両用バス目当ての観光客も増えているようです



し、地域の活性化という意味では多少は社会に貢献できているんじゃないかなと思います」。大阪府・十三の淀川で幼少期を過ごした須知さん。「大阪市の市章『滯つくし』は、水のまちということの象徴。でも、近ごろは川は危険なものとして暮らしから遠ざけられ、結果として『水の都』というのもフレージングになってしまっている。私たちの活動を通して人々に川や水への関心を持ってもらえれば」と話します。次の「日本初」を求めて、須知さんの試行錯誤の日々は続きます。



ふるさと都・夢づくり協議会 須知裕曠さん

BYスタンプラリーとは、水質改善活動に取り組んでいる協賛グループの活動に参加してスタンプを集め、記念品をもらう新しいタイプのスタンプラリーです。これまで2,451人の方がご応募くださいました。また協賛グループは、58の市民団体と20の水関連施設で構成されています。(平成21年8月末現在)





# 第1回 「淀川資料館」

淀川を環境・くらし・歴史の3コーナーで紹介。人気の企画展が行われる展示室や貴重な資料を収めた資料閲覧コーナーもあり、楽しみながら淀川を学ぶことができます。



淀川資料館には淀川の魅力がいつばいつまっていますよ



淀川資料館 諸留幸弘さん

## 淀川環境

淀川に住む生き物たちを紹介。どこにどんな生き物がすみ、どんなくらしをしているか学べます。

巨大な淀川の模型



明治時代の初期、オランダ人ヨハネス・デ・レーケによって航路を維持するために設けられた水制工がもとになってできた「わんど」やタマリは、魚などの生きものにとって住みやすい条件が整った場所です。淀川には、人工の「わんど」もあります。



## 淀川歴史

昔から氾らんに対して何度も改修工事を行い、大阪の発展を支えてきた淀川。何度も形を変えてきた淀川には災害と改修の歴史が刻まれています。

かべには年表



人物事典の巨大スクリーン



昔の淀川は曲がりくねっていました

床をよく見ると...



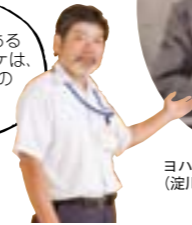
当時の資料

展示品もいろいろ



巨大地図

近代の淀川の父であるヨハネス・デ・レーケは、今の淀川と私たちの関係の基礎をつくりました



ヨハネス・デ・レーケ (淀川河川事務所提供)

## くらしと淀川

江戸時代～明治時代の人々のくらしと淀川の関わりを絵画・模型などで紹介。当時の道具も展示しているので、今は違った淀川の当時の様子が学べます。



魚くわんが 漁くわんが

昔あった「三十石船」や「くわんが船」に見られるように、明治時代まで淀川は人や物を運ぶ重要な交通路でした



## 淀川資料館特別展示展のお知らせ

- 時期 / 平成21年10月3日～平成22年3月1日
- テーマ / 「淀川改良工事から100周年 ～沖野忠雄を中心に～」



みんなきてやー

### 【ご案内】

- 開館時間：9:00～16:30 (入館は16:00まで)
- 休館日：毎週火曜日 (火曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始 ※臨時休館日があります
- 入館料：無料
- 住所：〒573-1191 大阪府枚方市新町2-2-13
- 電話：072-846-7131
- 交通：京阪枚方市駅より徒歩7分 京阪枚方公園駅より徒歩15分 阪急高槻市駅・JR高槻駅より京阪バス枚方市行「枚方公園口」下車徒歩10分



# BYQ INFORMATION

お申し込み・お問い合わせ：(財)琵琶湖・淀川水質保全機構 TEL.06-6920-3035 FAX.06-6920-3036 ホームページ <http://www.byq.or.jp/>

## BYスタンプラリー現場交流会 in 猪名川

# 『みんなで猪名川を楽しもう!』参加者募集のお知らせ

猪名川を歩きながら水調べをしたり、生き物の観察をしたり——みんなで秋の猪名川を楽しみませんか!



猪名川の自然



猪名川

- 開催日時：平成21年10月24日(土) 午前10時～午後3時
- 開催場所：兵庫県尼崎市～伊丹市(猪名川周辺)
- 集合：阪急神戸線「園田」駅
- 解散：伊丹スカイパーク(予定)
- 定員：50名(小学生以下は保護者同伴)
- 参加費：無料(集散場所までの交通費は自己負担)
- 申込方法：ホームページから参加申込書をダウンロードしていただき、必要事項を記入の上 FAX等でお申し込みください。
- ホームページ：[http://www.byq.or.jp/by-stamp/genba\\_kouryu/2009inagawa.html](http://www.byq.or.jp/by-stamp/genba_kouryu/2009inagawa.html)

【主催】猪名川・神崎川水質研究グループ 【共催】(財)琵琶湖・淀川水質保全機構

# ジュニアリバーズスクール2009参加者募集のおしらせ

ジュニアリバーズスクールは、次代を担う子どもたちが琵琶湖・淀川流域での体験学習を通じて、身近な水環境を学び、河川、水、自然のあらゆる事を総合的に考えていく体験学習で、今年が京都で開催します。琵琶湖疏水記念館や周辺の琵琶湖疏水の見学、きき水、水質調査などを行います。



琵琶湖疏水記念館



- 開催日時：平成21年11月8日(日)
- 開催場所：琵琶湖疏水記念館ほか
- 募集対象：琵琶湖・淀川流域にお住まいの小学校4年生から6年生 ※琵琶湖・淀川流域は琵琶湖～宇治川、桂川、木津川、淀川本川、猪名川の5流域で構成されます。
- 参加費：無料
- 募集人数：40名 (小学生とその保護者または引率者)
- 詳しくは、BYQのホームページをご覧ください。